

頭シラミについて（あおぞら水元保育園ガイドブック参照）

子ども同志の接触が密な集団生活の中では、度々頭シラミの発生がみられます。これは不潔で発生するのではなく、病気との関係もありません。子どもは体を寄せ合って遊ぶことが多いので、大人より移りやすいと考えられます。

頭シラミに感染し、吸血されると痒みがでます。頭皮に掻き傷ができたり、痒みのために集中力が低下したりします。頭シラミを駆除するためには、正しい知識と適切な対応が必要です。

園では日頃から早期発見に努め、有卵が認められたとき（顕微鏡にて検査しています）には書面を持ってお知らせしています。

頭シラミって何？

頭シラミは卵→幼虫→成虫と成長します。頭シラミは、体長約2～5mm、卵は約0.5mm程度です。成虫は1日5～6個の卵を産みます。

卵は髪の毛に産み付けられ、指で引っ張ってもなかなか取れません。幼虫、成虫は吸血します。吸血されると痒みを伴います。幼虫、成虫共に羽がないため飛ぶことなく、ノミの様にとび跳て、感染することはありません。

頭シラミは年齢・性別に関係なく、すべての人の頭部に寄生する可能性があり清潔にしているも寄生されることがあります。

どんなことで感染するの？

- ・帽子、カラーゴム、クシ、ブラシ、タオル等を貸し借りする。
- ・寝具類、枕、シーツ等を介してうつることがあります。
- ・頭を近づけて寄り添うときにうつることがあります。
- ・バスや電車のソファを介して、うつることがあります。
- ・洗髪が不十分で、増やしてしまうこともあります。
（例：子どもだけの入浴、シャンプーが目に入るのを嫌がって簡単に洗う等）
- ・頭シラミは本来寄生者から離れたくないため、手で触ったくらいでは感染しません。

頭シラミの見つけ方と駆除方法

成虫は髪の毛の間をかなり早く動き回るので、見つけるのが困難です。最も簡単な見つけ方は毛に産みつけられている卵を探すことです。

卵はフケのように見えますが、楕円形で髪にしっかりと産みつけられているため、手で触っても簡単にはとれません。また、卵は耳の後ろ側や後頭部から襟足にかけて多く見られます。

卵や成虫を発見したら、すぐに皮膚科を受診しましょう。又は薬局にて駆除用のスミスリン剤と専用のすきぐしを購入し駆除します。予防の為に、時々保護者が子どもの頭髪を確認しましょう。

※手足口病が流行しています。

手・足・口・喉・臀部等に発疹ができます。発疹が出る前に微熱がでる人もいますので、普段から子どもの体調に気をつけ、増える発疹が出た場合には受診をお願いします。

また、喉に発疹ができると、飲み込むのが痛いため、普段よりよだれが増えたり、食欲低下が見られます。